

(別紙 1) 提案を求めるラベルのデザイン要件

1. ラベルのサイズ・全体構成

- ラベルの形状は、紙面広告やインターネット広告への表示に際して配置しやすく、かつ縮小表示の場合にも視認性が確保されやすいよう配慮したものとし、縦横比は原則として横長とする。
- 提出データのサイズは、横幅を 60mm 以上とする。
- 文字サイズは見やすい大きさとし、原則として 7 ポイント以上とする。
- ラベルの構成要素は、表 1 に示す①～⑨とし、各構成要素のデザイン要件については、2. に記載する。

表 1 ラベルの構成要素

<p>&lt;基本項目（常に表示する項目）&gt;</p> <p>① エネルギー消費性能の多段階評価</p> <p>② 断熱性能の多段階評価 ※住宅のラベルのみ表示、非住宅のラベルでは表示しない</p> <p>③ 評価年月日</p> <p>④ 自己評価又は第三者評価の別（第三者評価については、評価機関の名称を含む）</p> <p>⑤ 「建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル」という文字情報</p> <p>⑥ 建築物の名称</p> <p>&lt;追加項目（表示を行う者が、表示の有無を選択可能な項目）&gt;</p> <p>⑦ 再生可能エネルギー利用設備が設置されていることを示すマーク</p> <p>⑧ 第三者評価を取得していることを示すマーク</p> <p>⑨ 目安光熱費 ※住宅のラベルのみ表示、非住宅のラベルでは表示しない。</p>	
---	--

- 各構成要素は、それぞれ独立したデザインとし、他の構成要素との位置の重複が無いようにする。
- 基本項目（①～⑥）をデザインする領域と、追加項目（⑦～⑨）をデザインする領域は区別することとし、追加項目を表示しない場合も成立するデザインとする。

- 提出を求める構成パターンは表 2 に示す 4 パターンとする。

➢ 提出様式への記載例は参考 1 (P7～8)を参照。

表 2 提出を求める構成パターン

【住宅】		【非住宅】	
パターン 1	基本項目（①～⑥）、	パターン 3	基本項目（①、③～⑥）
パターン 2	基本項目（①～⑥） 追加項目（⑦～⑨）	パターン 4	基本項目（①、③～⑥） 追加項目（⑦、⑧）

## 2. 各構成要素のデザイン要件

### 2-1 基本項目

#### 【要素①】 エネルギー消費性能の多段階評価

##### <全パターン共通>

- 多段階評価がエネルギー消費性能についてのものであることが分かるよう、「エネルギー消費性能」の文字情報を配置する。
- 建築物のエネルギー消費性能（建築物におけるエネルギー消費量を基礎とした性能）に関する国の基準（省エネ基準）からの削減度合い（削減率）に応じた段階を、多段階（段階の数は、パターン毎に以下に指定する）に表示し、当該建築物の性能がどの段階に該当するかを判別できる「多段階評価」をデザイン提案する。
  - （補足）1段階目が現行の国の省エネ基準に適合する性能であり、1段階上がるごとにエネルギー消費量の削減率が10%向上する（例：3段階目は20%削減、4段階目は30%削減）
- 各段階は、星の数など、一般消費者が馴染みやすい形状の個数等で表現する。この際、必ずしも「星」に限定しないが、「星が3つ」「★3」など、文字での情報伝達が行いやすいものがより望ましい。
- いずれの段階に該当する場合も、劣悪なイメージとならないよう配慮する。

##### <パターン1（住宅・基本項目のみ）>

- 全体を4段階とする。
- 第3段階が「ZEH水準」であることが分かるようにする
  - 提案においては、第3段階に該当することを表示し、この際、第4段階に満たないことが分かるようにする（白抜きにする等）。

##### <パターン2（住宅・基本項目＋追加項目）>

- 全体を6段階とする。
- 第3段階が「ZEH水準」であることが分かるようにする。
- 「再生可能エネルギーを加味しない多段階評価」と、「再生可能エネルギー（自家消費分）を加味した多段階評価」の差が分かるようにする。
  - （補足）「再生可能エネルギーを加味した多段階評価」は、太陽光発電設備の創エネルギーによる削減効果を加味した削減率により評価され、「再生可能エネルギーを加味しない多段階評価」よりも、一般に、評価結果が向上する。
  - 両者の差が分かる表現の例：差分を色や形状等により区別する、全体を二段で表示する等  
⇒ 具体のイメージは参考2（P10～12）を参照
- 第3段階がZEH水準であることが分かるようにする
  - 提案においては、「再生可能エネルギーを加味しない多段階評価」が第3段階であり、「再生可能エネルギーを加味した多段階評価」が第6段階であることを表示したものとす。
  - 提案において、「再生可能エネルギーを加味しない多段階評価」と「再生可能エネルギーを加味した多段階評価」を分けて表示する場合は、「再生可能エネルギーを加味しない多段階評価」が第4段階に満たないことが分かるようにする。その際、第5段階、第6段階に満たないことを分かるようにする必要はない。

#### <パターン3（非住宅、基本項目のみ）>

- 全体を6段階とする。
- 第5段階が「ZEB水準（事務所等用途）」であることが分かるようにする。
  - 提案においては、第5段階に該当することを表示し、この際、第6段階に満たないことが分かるようにする（白抜きにする等）。

#### <パターン4（非住宅、基本項目＋追加項目）>

- 全体を6段階とする。
- 「再生可能エネルギーを加味しない多段階評価」と、「再生可能エネルギー（自家消費分）を加味した多段階評価」の差が分かるようにする。
  - ◇ （補足）「再生可能エネルギーを加味した多段階評価」は、太陽光発電設備の創エネルギーによる削減効果を加味した削減率により評価され、「再生可能エネルギーを加味しない多段階評価」よりも、一般に、評価結果が向上する。
  - ◇ 両者の差が分かる表現の例：差分を色や形状等により区別する、全体を二段で表示する等  
⇒ 具体のイメージは参考2（P10～12）を参照
- 第5段階がZEB水準（事務所等用途）であることが分かるようにする。
  - 提案においては、「再生可能エネルギーを加味しない多段階評価」が第5段階であり、「再生可能エネルギーを加味した多段階評価」が第6段階であることを表示する。

#### 【要素②】 断熱性能の多段階評価 ※住宅（パターン1,2）のみ

- 多段階評価が断熱性能についてのものであることが分かるよう、「断熱性能」の文字情報を配置する。
- 住宅の断熱性能（壁や窓からの熱の逃げにくさ）に応じた段階を7段階に表示し、当該住宅の性能がどの段階に該当するか判別できる「多段階評価」をデザイン提案する。
- 段階が上がるほど断熱性能が高くなる（熱が逃げにくくなる）ことを表現する。
  - （補足）第1段階は断熱性能向上のための対策を行っていない、第2段階及び第3段階は対策を行っているが現行の省エネ基準（第4段階）には満たない性能を意味している。
- 第5段階がZEH水準であることが分かるようにする。
  - 提案においては、当該住宅の断熱性能が第5段階であることを表示する。

#### 【要素③】 評価年月日

- 評価年月日は、省エネ性能を評価した年月日（年は西暦）を記載する。
  - 提案においては、「評価年月日 ○年○月○日」と記載すること。

#### 【要素④】 自己評価又は第三者評価の別

- 「自己評価」又は「第三者評価」のいずれかを記載し、第三者評価の場合は評価を行った評価機関の名称を記載する。
- 記載位置は、要素③（評価年月日）に近接させる。

- 提案においては、パターン 1,3 では：「自己評価」  
パターン 2,4 では：「第三者評価（評価機関の名称）」と記載すること。

**【要素⑤】 「建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル」という文字情報**

- 「建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル」という文字情報の横に、「住宅」又は「非住宅建築物」のどちらかを記載する
  - 提案においては、パターン 1,2 では「建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル（住宅）」  
パターン 3,4 では「建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル（非住宅建築物）」と記載する。

**【要素⑥】 建築物の名称**

- 建築物の名称を記載する。
  - 提案においては、「建築物の名称」と記載すること。

## 2-2 追加項目

### 【要素⑦】 再生可能エネルギー利用設備が設置されていることを示すマーク

- 当該建築物に再生可能エネルギー利用設備（太陽光発電設備等）が設置されている旨を把握できるデザインとする。
- マークのデザインにあたっては、「再エネ利用設備」という文字情報を含めてもよい（任意）。

### 【要素⑧】 第三者評価を取得していることを示すマーク ※第三者評価の場合（パターン2,4）のみ

- マークのデザイン提案は求めず、図1～3に指定するマークを用いることとする（マークは変更不可）。
- 図1（BELSマーク）と図2・3（ZEHマーク、ZEBマーク）は必ずしも近接させる必要はなく、それぞれの短辺の長さが10mm未満とならないよう配置する。
  - 提案においては、住宅（パターン2）の場合、「BELSマーク」及び「ZEHマーク」、非住宅（パターン4）の場合、「BELSマーク」及び「ZEBマーク」を用いる。

図1 BELSマーク



図2 ZEHマーク



図3 ZEBマーク



### 【要素⑨】 目安光熱費 ※住宅のみ

- 住宅の「目安光熱費」を記載する。
  - (補足) 目安光熱費とは、住宅の設計上のエネルギー消費量を全国統一の燃料単価に用いて年額の光熱費の目安額に換算したものであって、以下の要素により構成される。
    - ◇ 年額の光熱費の目安額
    - ◇ 実際の光熱費とは異なるものである旨の注記
    - ◇ 算出に用いた、燃料別の設計二次エネルギー消費量
    - ◇ 算出に用いた、燃料別の燃料単価
  - 提案(パターン2のみ)においては、以下の内容を記載する(レイアウト・フォント・文字の大きさは変更可)。

目安光熱費 約〇〇万円/年

目安光熱費は、住宅の省エネルギー性能と全国一律の燃料単価にて算出したものであり、実際の光熱費は、使用条件や設備、契約会社により異なります。

参考値：

設計二次エネルギー消費量

(電気) 〇kWh (都市ガス) 〇m<sup>3</sup> (LPガス) 〇m<sup>3</sup> (灯油) 〇ℓ

燃料単価

(電気) 〇円/kWh (都市ガス) 〇円/m<sup>3</sup> (LPガス) 〇円/m<sup>3</sup> (灯油) 〇円/ℓ

### 3. その他

- 自己評価の場合(パターン1,3)・第三者評価の場合(パターン2,4)で統一感のあるデザインとする。
- アクセシビリティに配慮した色調・デザインとするほか、白黒で表示した場合も、内容を識別可能なものとする。
- 紙面への掲載、スマートフォン・タブレット・PC等の画面上での閲覧を想定し、見やすさに配慮したデザインとする。
- 建築物の環境性能についての他の表示制度との混同を極力防止するよう配慮したデザインとする。
  - (補足) 地方公共団体独自の環境性能表示制度の例については、参考資料(別紙4)のP14~16を参照

参考 1) 提案パターン例 一覧表

パターン1 (基本項目①～⑥)	
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;">基本項目①～⑥</div> <b>エネルギー消費性能</b>  ZEH水準 ★省エネ	<b>断熱性能</b>  ZEH水準
建築物の名称 評価年月日 ○年○月○日 自己評価	
建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル (住宅)	
パターン2 (基本項目①～⑥、追加項目⑦～⑨)	
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;">基本項目①～⑥</div> <b>エネルギー消費性能</b>  ZEH水準 ★省エネ ★創エネ	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; display: inline-block;">追加項目⑧</div>  追加項目⑦
<b>断熱性能</b>  ZEH水準	建築物の名称 評価年月日 ○年○月○日 第三者評価 (評価機関の名称)
建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル (住宅)	
目安光熱費 約○○万円/年 目安光熱費は、住宅の省エネルギー性能と全国一律の燃料単価にて算出したものであり、実際の光熱費は、使用条件や設備、契約会社により異なります。 参考値： 設計二次エネルギー消費量 (電気)○KWh (都市ガス)○m <sup>3</sup> (LPガス)○m <sup>3</sup> (灯油)○ℓ 燃料単価 (電気)○円/KWh (都市ガス)○円/m <sup>3</sup> (LPガス)○円/m <sup>3</sup> (灯油)○円/ℓ	
<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; display: inline-block;">追加項目⑨</div>	

パターン3 (基本項目①、③～⑥)

基本項目①、③～⑥

**エネルギー消費性能**



ZEB水準

★省エネ

建築物の名称  
評価年月日 ○年○月○日 自己評価

建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル (非住宅建築物)

パターン4 (基本項目①、③～⑥、追加項目⑦、⑧)

基本項目①、③～⑥

追加項目⑧

**エネルギー消費性能**



ZEB水準

★省エネ ★創エネ

追加項目⑦



建築物の名称  
評価年月日 ○年○月○日 第三者評価 (評価機関の名称)

建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル (非住宅建築物)

参考2) 要素①（エネルギー消費性能）の多段階評価のイメージ

(提案においては、赤枠部分の削減率の場合の表示例をデザインする。)

(1) 要素⑦（再生可能エネルギー利用設備が設置されていることを示すマーク）を表示しない場合

【住宅】

多段階評価の表示例	(参考) 省エネ基準からの削減率
★★★★★	30%以上
★★★★☆	20%以上 30%未満 (ZEH水準)
★★★☆☆	10%以上 20%未満
★★☆☆☆	0%以上 10%未満
★☆☆☆☆	-

【非住宅】

多段階評価の表示例	(参考) 省エネ基準からの削減率
★★★★★★★	50%以上
★★★★★★☆	40%以上 50%未満 (ZEB(事務所等)水準)
★★★★★☆☆	30%以上 40%未満
★★★★☆☆☆☆	20%以上 30%未満
★★★☆☆☆☆☆	10%以上 20%未満
★★☆☆☆☆☆☆	0%以上 10%未満
★☆☆☆☆☆☆	-

<上記(赤枠)のデザインイメージ>

【住宅】



【非住宅】



(2) 要素⑦（再生可能エネルギー利用設備が設置されていることを示すマーク）を表示する場合

<一段書きで表現する提案の例>

【住宅】

多段階評価 の表示例	(参考) 省エネ基準からの削減率			
	再生可能エネルギーを加味しない		再生可能エネルギー（自家消費分）を加味する	
★★★★★☆☆	40%削減	(★5)	50%削減	(★6)
★★★★★☆☆	30%削減	(★4)	50%削減	(★6)
★★★★★☆☆	20%削減	(★3)	50%削減	(★6)
★★★★☆☆☆	10%削減	(★2)	30%削減	(★4)
★★★☆☆☆☆	0%削減	(★1)	20%削減	(★3)
★★☆☆☆☆☆	0%超	(★0)	10%削減	(★2)

※5段階目、6段階目について白抜き表示は不要とする。

【非住宅】

多段階評価 の表示例	(参考) 省エネ基準からの削減率			
	再生可能エネルギーを加味しない		再生可能エネルギー（自家消費分）を加味する	
★★★★★★★☆☆	50%削減	(★6)	50%削減	(★6)
★★★★★★★☆☆	40%削減	(★5)	50%削減	(★6)
★★★★★★☆☆☆	30%削減	(★4)	50%削減	(★6)
★★★★★☆☆☆☆	20%削減	(★3)	50%削減	(★6)
★★★★★☆☆☆☆	20%削減	(★3)	30%削減	(★4)
★★★★☆☆☆☆☆	10%削減	(★2)	20%削減	(★3)
★★★☆☆☆☆☆☆	0%超	(★0)	10%削減	(★2)

<上記（赤枠）のデザインイメージ>

【住宅】



【非住宅】



<二段書きで表現する提案の例>

【住宅】

多段階評価 の表示例	(参考) 省エネ基準からの削減率			
	再生可能エネルギーを加味しない場合		再生可能エネルギー（自家消費分）を加味した場合	
★★★★★ ★★★★★	40%削減	(★5)	50%削減	(★6)
★★★★★ ★★★★★	30%削減	(★4)	50%削減	(★6)
★★★★☆ ★★★★★	20%削減	(★3)	50%削減	(★6)
★★☆☆☆ ★★★★★	10%削減	(★2)	30%削減	(★4)
★☆☆☆☆ ★★★★☆	0%削減	(★1)	20%削減	(★3)
☆☆☆☆☆ ★★☆☆☆	0%超	(★0)	10%削減	(★2)

※5段階目、6段階目について白抜き表示は不要とする。

【非住宅】

多段階評価 の表示例	(参考) 省エネ基準からの削減率			
	再生可能エネルギーを加味しない場合		再生可能エネルギー（自家消費分）を加味した場合	
★★★★★★ ★★★★★★	50%削減	(★6)	50%削減	(★6)
★★★★★★☆ ★★★★★★	40%削減	(★5)	50%削減	(★6)
★★★★★☆☆ ★★★★★★	30%削減	(★4)	50%削減	(★6)
★★★★☆☆☆☆ ★★★★★★	20%削減	(★3)	50%削減	(★6)
★★★★☆☆☆☆ ★★★★★☆☆	20%削減	(★3)	30%削減	(★4)
★★★☆☆☆☆☆ ★★★★☆☆☆☆	10%削減	(★2)	20%削減	(★3)
☆☆☆☆☆☆☆☆ ★★★☆☆☆☆	0%超	(★0)	10%削減	(★2)

<上記（赤枠）のデザインイメージ>

【住宅】



【非住宅】

